

# 令和7年度事業報告

公益社団法人 日本小児科学会

## 1. 学術集会の開催

第128回学術集会を令和7年4月18日（金）から20日（日）まで「子どもたちに持続可能な小児医療の未来を：SDGs for Children」をテーマに愛知県（ポートメッセなごや）において、名古屋市立大学医学研究科新生児・小児医学分野齋藤伸治会頭主宰により開催した。

（参加者 9,132 名（うち現地来場者 4,825 名）：一般演題数 912 題）

## 2. 機関誌の発行

日本小児科学会雑誌、Pediatrics International をそれぞれ発行した。

## 3. 専門医関連事業

- 1) 小児科専門医試験を令和7年9月6日（筆記）、7日（面接）に神奈川県横浜市（パシフィコ横浜ノース）で実施し、旧制度19名を認定した。また、暫定制度を含むプログラム制の一次審査を行い、533名を合格とした。
- 2) 日本小児科学会専門医（旧制度）の更新申請を令和7年3月及び9月に受付け、2名を合格とした。
- 3) 日本専門医機構専門医の更新申請を令和7年3月に受付け、2,964名を合格とした。
- 4) 日本小児科学会研修施設の更新申請を令和7年3月及び9月に受付け、更新93施設を承認した。
- 5) 日本小児科学会研修支援施設の更新申請を令和7年3月及び9月に受付け、更新54施設を承認した。
- 6) 新専門医制度による研修プログラムの一次審査を行い、189施設を承認した。
- 7) 認定小児科指導医の新規申請及び更新申請を令和7年3月に受付け、新規174名、更新912名を認定した。

## 4. 各種委員会等の活動

本学会が目的とする事業を達成するため、以下の委員会・ワーキンググループにおいて調査研究、学術集会・講習会・フォーラム等の開催、機関誌の発行、専門医制度の運営、関係機関に対する要望、提言、諸外国を含む小児科関連団体との連携・協議などの活動を行った。

- |                |                    |          |
|----------------|--------------------|----------|
| ・和文誌編集委員会      | ・英文誌編集委員会          | ・学術委員会   |
| ・用語委員会         | ・国際渉外委員会           | ・新生児委員会  |
| ・予防接種・感染症対策委員会 | ・社会保険委員会           | ・小児医療委員会 |
| ・小児医療提供体制委員会   | ・小児救急・集中治療委員会      | ・JPLS委員会 |
| ・医療安全委員会       | ・薬事委員会             | ・広報委員会   |
| ・情報管理委員会       | ・小児慢性疾病委員会         | ・移行支援委員会 |
| ・こどもの生活環境改善委員会 | ・ダイバーシティ・キャリア形成委員会 |          |
| ・倫理委員会         | ・将来の小児科医を考える委員会    | ・災害対策委員会 |
| ・利益相反委員会       | ・予防のための子どもの死亡検証委員会 |          |

- ・成育基本法推進委員会
- ・試験運営委員会
- ・1 か月・5 歳児健診推進アドホック委員会
- ・働き方改革検討ワーキンググループ
- ・小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群 (MIS-C/PIMS) 診療コンセンサスステートメント作成のためのワーキンググループ
- ・日本における RS ウイルス感染症に対する抗体製剤・ワクチンの使用に関するコンセンサスガイドライン検討ワーキンググループ
- ・小児周術期ワクチンスケジュール検討ワーキンググループ
- ・JPS-AAP こどもアドボカシー・ワーキンググループ
- ・自律的意思決定が困難な患者の成人移行支援のあり方を検討するワーキンググループ
- ・民法改正に伴う父母の離婚後の共同親権導入への対策検討ワーキンググループ
- ・中央資格認定委員会・各地区資格認定委員会
- ・生涯教育・専門医育成委員会
- ・専門医制度運営委員会
- ・原因不明の小児の急性肝炎対策ワーキンググループ
- ・専門医関係 WEB 化ワーキンググループ

#### 日本小児医療保健協議会（四者協）担当合同委員会

- ・栄養委員会
- ・治療用ミルク安定供給委員会
- ・重症心身障害児（者）・在宅医療委員会

### 5. フォーラム、講習会等の開催

- 1) 第 174 回～第 217 回小児診療初期対応 (JPLS) コース 計 44 コース  
 (令和 7 年 3 月 2 日、5 月 10 日、5 月 11 日、5 月 18 日、5 月 25 日 (2 コース)、6 月 15 日 (2 コース)、6 月 22 日 (2 コース)、6 月 29 日 (2 コース)、7 月 20 日、7 月 26 日、7 月 27 日、8 月 3 日 (2 コース)、8 月 31 日、9 月 7 日 (2 コース)、9 月 21 日 (2 コース)、10 月 5 日、10 月 12 日、10 月 19 日 (2 コース)、11 月 2 日、11 月 9 日 (2 コース)、11 月 16 日 (2 コース)、11 月 24 日、11 月 30 日、12 月 7 日 (2 コース)、令和 8 年 1 月 18 日 (2 コース)、1 月 24 日、1 月 25 日 (2 コース)、2 月 1 日、2 月 7 日、2 月 8 日、2 月 22 日)
- 2) 第 18 回 JPLS 講師養成コース (令和 7 年 3 月 4 日)
- 3) 第 7 回小児死亡時対応講習会 (令和 7 年 3 月 8 日)
- 4) 第 15 回日本小児科学会倫理委員会公開フォーラム (令和 7 年 3 月 22 日)
- 5) アドボカシーデイ (令和 7 年 3 月 15 日～16 日)
- 6) 第 18 回、第 19 回 Sedation Essence in Childen Under Retriected Enviroment (SECURE) コース (令和 7 年 4 月 5 日、令和 7 年 11 月 22 日)
- 7) ワクチン忌避による動機づけ面接トレーニングワークショップ (令和 7 年 4 月 18 日)
- 8) 小児・周産期医療従事者向け災害医療研修会 (令和 7 年 4 月 20 日)
- 9) 第 35 回、第 36 回小児科医のための臨床研修指導医講習会 (令和 7 年 7 月 5～6 日、令和 8 年 1 月 10～11 日)
- 10) 第 14 回インテンシブコース (令和 7 年 8 月 2～3 日)
- 11) 第 8 回小児死亡時対応講習会 (令和 7 年 10 月 19 日)
- 12) 第 19 回思春期医学臨床講習会 (令和 7 年 10 月 5 日)
- 13) 治療用ミルク多職種フォーラム 2025 (令和 7 年 11 月 29 日)
- 14) こどもまんなかワークショップ (令和 7 年 12 月 7 日)

15) 第20回子どもの食育を考えるフォーラム（令和8年2月11日）

6. ホームページに掲載した提言等

1) 予防接種・感染症関係

- ・百日咳患者数の増加およびマクロライド耐性株の分離頻度増加について（令和7年4月）
- ・小児のマイコプラズマ肺炎の診断と治療に関する考え方【改訂版】（令和7年4月）
- ・ポリオに関する注意喚起および、急性弛緩性麻痺（AFP）の届出義務の周知（令和7年4月）
- ・小児に対するワクチンの筋肉内接種法について【改訂版】（令和7年4月）
- ・学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説【改訂版】（令和7年4月）
- ・「RSウイルス感染症に関するガイドラインや考え方の情報」について（令和7年4月）
- ・日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール（日本語版）【改訂版】（令和7年5月、12月）
- ・日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール（英語版）【改訂版】（令和7年5月、令和8年1月）
- ・日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」（日本版 Vaccine information statement（VIS））について【改訂版】（令和7年5月）
- ・日本小児科学会が推奨する予防接種キャッチアップスケジュール【改訂版】（令和7年5月、6月）
- ・日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール（保護者用）【改訂版】（令和7年6月）
- ・生後2か月未満の乳児における重症百日咳の発症に関する注意喚起と治療薬選択について（令和7年6月）
- ・伝染性紅斑患者数の増加に伴う注意喚起（令和7年9月）
- ・日本におけるニルセビマブの使用に関するコンセンサスガイドライン【改訂版】（令和7年9月）
- ・妊婦への接種が推奨または考慮されるワクチン（令和7年10月）
- ・「2025/2026 シーズンのインフルエンザ治療・予防指針」について（令和7年10月）
- ・任意接種ワクチンの小児（15歳未満）への接種【改訂版】（令和7年10月）
- ・日本におけるニルセビマブの使用に関するコンセンサスガイドライン Q&A【改訂版】（令和7年10月）
- ・2025/26 シーズンの小児への新型コロナワクチン接種に対する考え方（令和7年11月）
- ・乾燥弱毒生麻疹風疹混合（MR）ワクチン接種率の現状と課題【改訂版】（令和7年12月）

2) Injury Alert（傷害速報）

3) その他

- ・乳児期のビタミンD欠乏の予防に関する提言（令和7年3月）
- ・自律的意思決定困難な患者の成人移行支援のあり方に関する提言（令和7年7月）
- ・食品による窒息 子どもを守るためにできること【改訂版】（令和7年8月）
- ・わが国のチャイルド・デス・レビュー（Child Death Review; CDR）の確立に向けた提言（令和7年12月）
- ・吸入ステロイド薬・pMDI製剤の供給不足に伴うドライパウダー製剤（DPI）使用のお願い（令和8年2月）

## 7. 関係機関に提出した要望書等

- 1) RS ウイルス母子免疫ワクチンの早期定期接種化ならびに抗 RS ウイルスヒトモノクローナル抗体製剤を広く提供するための体制整備に関する要望書（令和 7 年 3 月 厚生労働省健康・生活衛生局長、感染症対策部長 宛：予防接種推進専門協議会構成団体として）
- 2) アクチノマイシン D の安定供給に関する緊急要望（令和 7 年 4 月 厚生労働大臣 宛）
- 3) 抗 RS ウイルスヒトモノクローナル抗体製剤及び RS ウイルス母子免疫ワクチンを広く提供するための体制整備に関する要望書（令和 7 年 4 月 厚生労働大臣 宛）
- 4) 各地域における 1 か月児・5 歳児健診推進に関する要望（令和 7 年 5 月 日本医師会会長 宛）
- 5) 令和 8 年度社会保険診療報酬改定における小児医療に関する要望書（令和 7 年 7 月 厚生労働大臣、日本医師会会長、内科系学会社会保険連合理事長 宛）
- 6) 高齢者用肺炎球菌ワクチン PCV21 の早期定期接種導入に関する要望書（令和 7 年 8 月 厚生労働省健康・生活衛生局長、感染症対策部長 宛：予防接種推進専門協議会構成団体として）
- 7) 早期の定期予防接種化に関する要望書（令和 7 年 10 月 厚生労働大臣 宛）
- 8) HPV ワクチンの男性に対する定期接種化に関する要望（令和 7 年 10 月 厚生労働省健康・生活衛生局長、感染症対策部長 宛：予防接種推進専門協議会構成団体として）
- 9) メキシレチン注射薬の安定供給体制の維持に関する要望（令和 7 年 10 月 厚生労働省医政局長 宛）
- 10) 特殊ミルク安定供給維持のための要望書（令和 7 年 11 月 厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長 宛）
- 11) 成育医療研究の充実と支援体制の強化に関する要望書（令和 7 年 12 月 こども家庭庁内閣府特命担当大臣 宛：日本小児医療保健協議会として）
- 12) 健康増進法の見直しに関する要望書（令和 8 年 1 月 厚生労働大臣、厚生労働省健康・生活衛生局長 宛）
- 13) 治療上必要性の高い医薬品の安定供給に関する要望（厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長 宛）
  - ・フルマリン静注用 0.5g（令和 7 年 8 月）
  - ・幼児用 PL 配合顆粒（令和 7 年 8 月）
  - ・ガランターゼ散 50%（令和 7 年 8 月）
  - ・プロタノール L 注 0.2mg（令和 7 年 8 月）
  - ・ケイツーシロップ 0.2%（令和 7 年 10 月）
  - ・ビオスリー配合散、ビオスリー配合錠、ビオスリー配合 OD 錠（令和 7 年 10 月）
  - ・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩シロップ 0.04%「日新」（令和 7 年 10 月）
  - ・アセトアミノフェン坐剤小児用（令和 7 年 10 月）
  - ・タベジール散 0.1%、タベジールシロップ 0.01%（令和 7 年 10 月）
  - ・ドンペリドン坐剤 10mg「日新」（令和 7 年 10 月）
  - ・モンテルカスト細粒 4mg「日新」、モンテルカストチュアブル錠 5mg「明治」（令和 7 年 10 月）
  - ・経ロアシクロビル製剤（令和 7 年 10 月）
  - ・経ロアリピプラゾール製剤（令和 7 年 10 月）
  - ・ケトチフェン点鼻液（令和 7 年 10 月）
  - ・ドンペリドン製剤（令和 7 年 10 月）

- ・パミドロン酸二ナトリウム製剤（令和7年10月）
- ・フルコナゾール注射剤（令和7年10月）
- ・フルチカゾンプロピオン酸エステル製剤（令和7年10月）
- ・アセトアミノフェン DS20%小児用「三和」（令和7年10月）
- ・セルシン散1%、プレドニゾロン散「タケダ」1%、調剤用パンビタン末（令和7年10月）
- ・ブデソニド吸入液0.25mg「武田テバ」、同0.5mg「武田テバ」（令和7年10月）
- ・ソル・メドロール静注用40mg、同125mg（令和7年10月）
- ・ハイシー顆粒25%（令和7年11月）
- ・アセトアミノフェン錠、アセトアミノフェン坐剤、アセトアミノフェン原末、クレマスチンドライシロップ（令和7年11月）
- ・一般診断薬精製ツベルクリン(PPD)1人用（令和7年11月）
- ・コレバイン錠500mg、コレバインミニ83%（令和7年11月）
- ・フロリネフ錠0.1mg（令和7年11月）
- ・インターフェロン-γ製剤（令和7年12月）
- ・セファレキシシン製剤（令和7年12月）
- ・エスクレ®坐剤「250」、エスクレ®坐剤「500」（令和7年12月）
- ・エクラー®プラスター20 μg/cm<sup>2</sup>（令和7年12月）
- ・ツロブテロールテープ0.5 mg「久光」、同1 mg「久光」、同2 mg「久光」（令和7年12月）

## 8. 表彰

小児保健賞5名、日本小児科学会学術研究賞5名を表彰した。

## 9. 総会、役員会、その他

1) 令和7年4月19日に通常総会を開催し、以下の付議事項を審議した。

付議事項	結果
1 令和6年度 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書に関する件	承認
2 第131回日本小児科学会学術集会会頭に関する件	//
3 名誉会員推薦に関する件	//
4 定款の一部変更に関する件	//
5 役員規則の一部変更に関する件	//
6 役員選挙規則の一部変更に関する件	//
7 役員等の報酬並びに費用に関する規則の一部変更に関する件	//

2) 理事会

理事会を10回開催し、入会申込の審査、その他の案件に関する審議、報告を行った。

3) 執行役員会議

執行役員会議を5回開催し、緊急案件、その他の議案について協議した。

10. 事業計画および収支予算書

令和8年2月16日開催の理事会において、令和8年度事業計画および令和8年度収支予算書を承認した。

11. 社員・会員の異動状況

	令和7年度末現在	令和6年度末現在	増減
社員(代議員)	597	585	12
正会員(代議員を除く)	23,294	22,728	566
団体会員	0	0	0

12. 常勤事務局職員の異動状況

令和7年度末人員	令和6年度末人員	増減
11	11	0

以上